

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

181		
[長期総合計画]		
分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童福祉総務費		
	大事業	児童福祉総務費(子育て支援課)		
	中事業	子ども・子育て支援事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市子ども・子育て支援事業計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	子育て支援課	榎野照明
事業実施の根拠法令	子ども・子育て支援法		関連課	保育こども園課・地域保健課・青少年課等		

1 事業内容

(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
事業目的	子供が健やかに成長できる社会の実現を目指し、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保、子ども・子育て支援の充実を図る。					子ども・子育て支援新制度開始に伴い、和歌山市子ども・子育て支援事業計画を策定し、計画の推進・進捗管理を行う。
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、和歌山市子ども・子育て支援事業計画の推進・進捗管理。	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の策定	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、和歌山市子ども・子育て支援事業計画の推進・進捗管理。	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、和歌山市子ども・子育て支援事業計画の推進・進捗管理。	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、和歌山市子ども・子育て支援事業計画の推進・進捗管理。	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、和歌山市子ども・子育て支援事業計画の推進・進捗管理。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,483	6,248	4,443	4,086	432	101	267	267	267	0
伸び率(%)	1,118.6%	5,021.3%	△31.5%	△34.6%	△90.3%	△97.5%	△38.2%	164.4%	0%	△100%
人件費	正規職員	7,353	6,154	5,558	5,799	6,848	7,246	7,246	7,246	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,353	6,154	5,558	5,799	6,848	7,246	7,246	7,246	0
国庫支出金	2,065	2,049	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	4,418	4,199	4,443	4,086	432	101	267	267	267	0
所要人数(人)	正規職員	0.92	0.77	0.69	0.72	0.86	0.91	0.91	0.91	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報酬 188千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
子ども・子育て会議開催予定数		回	目標値	3	5	2	2	2
			実績値	3	5	1		
			達成度(%)	100%	100%	50%	%	%
子ども・子育て会議開催数		回	目標値	3	5	2	2	2
			実績値	3	5	1		
			達成度(%)	100%	0%	50%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>附属機関である和歌山市子ども・子育て会議において、「和歌山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理や認定こども園の認可の審議等を行う。令和元年度においては、平成30年度実施の子供の生活実態調査とニーズ調査を受け、第二子ども・子育て支援事業計画策定のため、会議の開催数も多くなり、内容を充実させてきた。令和2年度以降については、計画に沿った現状の進捗管理を行うこととなる。</p>
見直し・改善内容	<p>令和元年度に「第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、令和2年度から実施している。子供の貧困計画を含めた本市全体の子育てに関する計画であることを踏まえ、進捗を管理し、必要に応じて調整が必要となる。</p>